

滋賀県
湖南市

今月のイチオシ「花と緑の滋賀シリーズ」

湖南市に自生する「うつくし松」を発信します



今回は、湖南市の木である「うつくし松」と地域活動について紹介します。

★うつくし松とは・・・

うつくし松は、湖南市平松の美松山びしょうざんの斜面だけに群生する、根本近くから幹が複数に分かれた美形の極めて珍しい松で、その自生地が国の天然記念物に指定されています。

平安時代に藤原頼平が静養でこの地を訪れた際、松尾神社の使いの童女が現れ、周囲の木を美しい松に変えたという伝説があり、神秘的なムードをたたえた湖南市の名所となっています。

【ここがイチオシ!!】

うつくし松の自生地が、大正 10 年（1921 年）3月3日に天然記念物として国の指定を受け、そこに現在、約 150 本が自生しており、樹齢 130 年以上、高さ約 16m になるものもあります。独特の形の理由は、自生地の土質（砂が交じった赤粘土）が原因と言われていましたが、最近の調査で劣性遺伝によることが判明しました。樹形は、扇型（上方山形）、扇型（上方やや円形）、傘型（多形型）、ホウキ型の四型式に分類されています。

うつくし松は、年間を通してきれいな緑色をしています。特に夏場は生き生きとした緑色が映えます。また、春には桜のピンク色とのコラボレーションがとてもきれいです。ぜひ一度現地にお越しください。

◆古来からの名所

うつくし松の自生地は東海道に近く、古来より松の名所として知られており、街道を往来する人々にも注目されていました。寛政9年（1797年）の『伊勢参宮名所図会』や『東海道名所図会』、浮世絵にも紹介されています。



歌川広重画
平松山「うつくし松」



美松山の図（「千歳集」による）
水口藩画師 平為寿 筆

◆うつくし松若木育成事業

現在、約 150 本のうつくし松が実存していますが、昭和 53 年頃からまつくい虫の被害に遭い、毎年数本が枯れていく事態となっています。

そこで、昔懐かしい風景を取り戻したいという思いから、地元である平松区の支援のもと、平成 23 年に平松長寿会がうつくし松若木育成事業を立ち上げました。うつくし松の種を採取し、若木育成畑に蒔き、若木育成に取り組んでいます。

今年の 4 月には平松長寿会の指導のもと、三雲小学校の生徒 84 人が種と苗の植付を行いました。育った若木は、卒業生が自生地に移植するなど将来につながる取組を拡げていく予定をしています。



★うつくし松を巡る

○9月8日(金) JRハイキング

「うつくし松」から伝説の中に出てくる「松尾神社」を巡るルートでJRハイキングが予定されています。事前申し込みは不要です。

「北島酒造」では、店内で試飲販売および蔵の見学もできます。

(当日のルート)

9:20 甲西駅 → うつくし松 → 松尾神社 → 北島酒造 → 12:30 甲西駅

○11月25日(土)、26日(日) 『湖南省東海道ウォーク みちくさコンパス』

湖南省の旧東海道を巡ることができます。スタンプラリーでは、” 古人の歩いた” 湖南省の旧東海道のラリーポイント 26ヶ所を辿りながらスタンプを集めます。

「うつくし松」や湖南三山のひとつ「長寿寺」など湖南省の名所を楽しんでいただけることはもちろん、美しい紅葉も堪能いただけます。

○「湖南三山」と「十二坊温泉ゆらら」

湖南省には、「湖南三山」と称する本堂が国宝の3つのお寺「常楽寺」「長寿寺」「善水寺」があります。これらの寺は、うつくし松からそれぞれ車で約20分ほど走ったところにあります。秋になると、紅葉がとても美しく魅力的です。

「善水寺」では、寺号の由来となった湧水を持って帰ることができます。また、善水寺の近くには100%天然温泉で神経痛や筋肉痛に効果がある「十二坊温泉ゆらら」があります。ドライブやハイキングで疲れた体を温泉で癒し、うつくし松とあわせて湖南省の豊かな自然を満喫してください。

今月のイチオシとは

知事定例会見で、県内の市町の地域資源を1つずつ紹介。

ねらいは、

- 1 各市町の情報発信力の向上
- 2 より季節感のある話題提供
- 3 県内各地域、ひいては県全体のブランド力の向上
- 4 県と市町の広報発信ネットワークの構築

【問い合わせ】

湖南省役所 秘書広報課

電話：0748-71-2300 FAX：0748-72-1467

メール：kouhou@city.shiga-konan.lg.jp

【ウツクシマツとは】

ウツクシマツ (*Pinus densiflora* Sieb. et Zucc. from. *umbraculifera* Miyoshi) の樹形は、庭木として用いられる多形松 (*Pinus densiflora* var. *umbraculifera* Mayr) に似ていますが、同じ傘型でも樹形に変異があり、樹形は四型式に分類されています。

I. 扇型 (上方山形)

地際から 1.5~2 m のところで、幹がいくつかに分岐し、扇状となり、樹冠の上部が山形になっています。

II. 扇型 (上方やや円形)

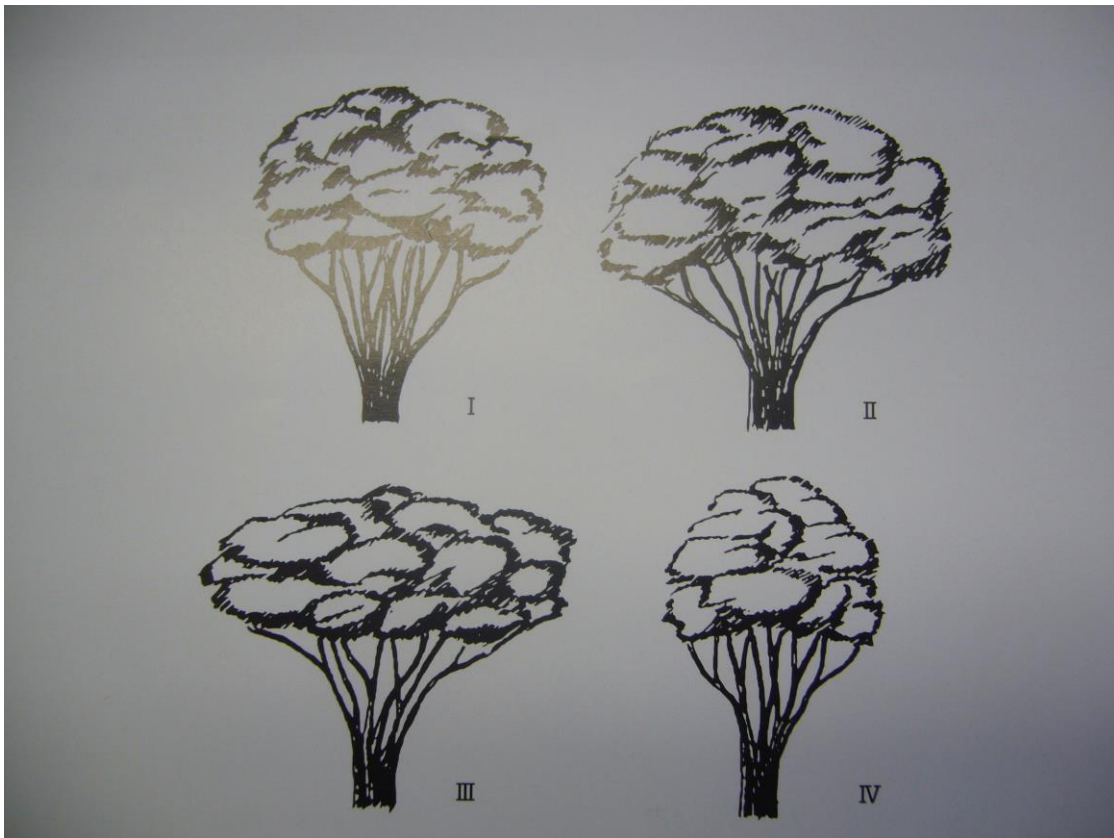
I と同型ですが、上方がやや円くなっています。

III. 傘型 (多形型)

地際から幹が多数分岐し、樹冠は傘状に広がっています。

IV. ホウキ型

幹の分岐のしかたは III と同じですが、樹冠の広がりが狭くて全体がホウキ状になっています。



かつて、ウツクシマツの特異な形態は、特殊な土質（砂礫を交えた粘質な赤土で土層は浅く、一部に岩盤が露出している）の影響によるものと考えられてきましたが、平成 14 年（2002）に太田明氏の研究によって劣性遺伝であることが判明しました。

平松長寿会 うつくし松若木育成事業

滋賀県で びわこ国体 が開催された 昭和 56 年 10 月 14 日、昭和天皇 が うつくし松自生地 へご行幸された時、400 本の うつくし松 が実存しており、昭和天皇から「しっかりお守りください」とお言葉をいただきました。

昭和 53 年頃から全国的にまつくい虫の被害が発生し、うつくし松 も被害に合いました。うつくし松自生地は、薬剤の地上散布や樹幹注入による防除により、最悪の事態には至らず被害を最小限に食い止められました。

現在、150 本くらいの うつくし松 が実存していますが、今もまつくい虫の被害に合い、毎年数本が枯れていく事態となっています。

昔なつかしい風景を取り戻したいという思いから、平松区の支援のもと、平成 23 年度に 平松長寿会 が うつくし松若木育成事業 を立ち上げ、5 年が経過しました。うつくし松 の種を採取し、その種を若木育成畑に蒔き、うつくし松 の若木育成に取り組んでいます。現在、若木育成畑では、1 年～4 年の若苗を 350 本育てています。また、若苗 5 年物の 120 本を河川敷に仮移植し、うつくし松自生地 へ移植する準備を行っています。

湖南市市長 谷畑英吾氏 うつくし松若木育成畑視察

(平成 26 年 3 月 18 日)



平成28年4月12日

平松長寿会

美し松若木育成事業中における

美し松自生地他へ若苗移植状況

【育成畑】 1～3年物の若苗を上の池育成畑・下栄町育成畑・自生地育成畑に育てています。



上の池：育成畑全景



下栄町：育成畑全景

【自生地他へ移植】（注記⇒移設後、美し松と確認に要する期間は3～5年と言われている）

①. 自生地の自生え若苗の移植：H24/3月=6本、H27/3月=4本、合計=10本

若苗の移植：10本の内訳⇒6本：美し松と確認・3本はポケている、

②. 自生地へ直蒔き若苗の畑数：H26/4月=14畑

直蒔き畑の状況⇒14畑で各々の畑で1～3本の美し松を確認

③. 畑より自生地へ若苗の移植：H27/2月=21本(内5本枯れ木)、H28/2月=22本、合計=38本

④. 家棟川河川敷へ若苗の移植：H27/2月=12本(内4本枯れ木)、H28/2月=10本、合計=18本



自生地自生え若木の移植



自生地直蒔き畑の若苗



育成畑より自生地へ移植した若苗



育成畑にて移植準備作業の皆様

【美し松の盆栽試作の目的】

- ①. 移植 美し松の確認率の向上のため、植木鉢で育成し、美し松と確認後自生地へ移植する。
- ②. 区民相互の触合い活動として、美し松の盆栽試作に挑戦して戴く。
- ③. 長浜盆梅展誕生の原点を参考に、うつくし松盆栽展開催の夢を見る



植木鉢移植:盆栽試行(其の1)



植木鉢移植:盆栽試行(其の2)

【H27/11/12日 滋賀県知事よりの賞状】



滋賀県立文化産業交流開会(米原市)で開催された、第54回滋賀県老人大会において「老人クラブ淡海の郷づくり推進事業」に参加し「生きがい活動に継続的に取り組み、地域の発展に寄与した」として滋賀県知事より賞状を戴きました。

【H28/2/28日 自生地へ移植作業参加の皆様】

当日は、市教育委員会 中村善司部長のほか平松区役員・平松長寿会員 総員25名の出席により、美し松若苗を植木鉢移植と自生地移植作業を実施しました。

